

～“創造性を活かしたまちづくり”の新たな試み～

「星川駅行政区画」運営事業者を公募します

横浜市では、平成16年（2004年）から文化芸術の持つ創造性をまちづくりに生かし、都市の新しい価値や魅力を生み出す「文化芸術創造都市」の取組を進めており、創造的な活動を行う民間事業者と共同して都心臨海部の歴史的建造物や公共空間等を「創造界限拠点（※）」として活用してきました。

そして現在、取組の開始から約20年が経ち、社会経済環境が大きく変化する中で、コミュニティの活性化や賑わいの創出といった地域課題に対応する取組の一環として、市民の方により身近な地域における文化芸術創造都市施策の展開を始めています。

このたび、相鉄線「星川駅」中層階に所在する行政区画を活用した、**都心臨海部以外における「初の創造界限拠点」の設置**に向け、コミュニティの拠点及びまちの新たな魅力となる施設を展開・運営していただく事業者を公募します。地域課題解決に向けてチャレンジする、積極的な提案をお待ちしています。

（※創造界限拠点：旧第一銀行横浜支店、急な坂スタジオ（旧老松会館）、象の鼻テラス、初黄・日ノ出町地区（地域再生まちづくり）、THE BAYS（旧関東財務局横浜財務事務所）、新高島駅地下1階展示施設）

1 所在地及び施設概要

所在地	横浜市保土ヶ谷区星川一丁目1-1 相鉄線 星川駅直結
施設概要	構造：鉄骨造（建物：2階建て） 対象面積：約 200 ㎡



2 公募概要

(1) 本施設の役割

創造的な手法やコンテンツを用いて、地域や社会、時代の求めるテーマにアプローチし、持続可能なまちづくりに貢献していくことを目指した拠点とします。

（別添「星川駅行政区画の活用コンセプトシート」参照）

(2) 運営手法

横浜市と運営事業者の間で転貸借契約を締結の上、本施設を貸し付けます。

(3) 賃料

無償 ※共益費、固定資産税及び都市計画税相当額等は運営事業者が負担

(4) 選考

公募型プロポーザル方式による提案選考

(5) スケジュール

施設見学 令和7年5月27日（火） ※事前申込制
応募書類の受付期限 令和7年7月9日（水）
選考 令和7年7月下旬（プレゼンテーション・ヒアリング）
選考結果の通知・公表 令和7年8月下旬～9月上旬

(6) 公募要項等の詳細

https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/bunka/sozotoshi/sozotoshi/kyoten/hoshikawa_kobo.html



お問合せ先

にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課長 黒澤 龍一 Tel 045-671-3425



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



- 星川駅に所在する区画を創造的な手法やコンテンツで活用する運営事業者を広く募集します。
- 本施設は、以下のような場になることを目指しています。それぞれの【例】は、公募要項記載の選考基準と併せて、提案の質を高めるための手がかりとしていただくことを目的としています。これに限らず自由に積極的な提案をお待ちしています。

人々のコミュニティの拠点になる

鉄道の立体交差化によってつながったまちの中心に位置する本施設に、人々が集まり、憩い、交流するコミュニティの拠点を生み出します



- 日々の生活の中でふらっと立ち寄りたくなる場
- ここに来ると誰かに会える、何かが始まる
- 新しいことに触れることができる
- WELL-BEINGの実現につながる

【例】

- ・ 人々が憩い交流できる休憩スペース、コワーキングスペースなどの空間
- ・ 脱炭素やサーキュラーエコノミーを学び体験できる場・コンテンツ
- ・ アートや文化芸術に触れられる場・コンテンツ
- ・ 「〇〇×アート」など社会課題と創造的分野をかけたコンテンツの提供
- ・ 学校帰りの子どもが学び、遊べる場

まちの新たな魅力になる

星川～天王町に、保土ヶ谷の魅力的な区心部を形成しながら、沿線全体のにぎわいを生み出します。

- 星天qlayや商店街等と一体となつてにぎわいが生まれる
- わくわくするようなコンテンツに触れられる
- 保土ヶ谷の歴史・文化が感じられる
- 沿線全体の魅力につながる

【例】

- ・ 星天qlayや地域の商店街、商業施設、企業、行政と連携したイベントや市民参加型のプログラム展開
- ・ 旧東海道の宿場町としての歴史や文化をまちの魅力として発信するイベント、街歩きなど
- ・ 水辺や公共空間を使ったイベントなど周辺地域の資源の可能性を発見する取組
- ・ 関内外のクリエイターなど、都心臨海部との人材やコンテンツのネットワークづくり



地域や社会、時代の求めるテーマ※にアプローチし、持続可能なまちづくりに貢献します

※地域コミュニティの活性化、脱炭素・気候変動、人口減少・少子高齢化、子育て環境の充実など